

天長節祝日

白雲雨露晚報

NOTÍCIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Conselheiro Furtado
No. 39
Caixa Postal H
S. Paulo, Brazil
Proprietário e editor
Seisaku Kuroishi

Assignaturas
por Anno 10\$000
,, Semestre 5\$500
,, Mez 1\$000
,, Semana \$200

陛下の御仁徳



記念日を祝するの却つて、竊慮にかなふと思ひ、茲に洩れ承はる
陛下の御情の一端を拜記し奉り、聖恩の難有きを感佩すること
ござせり

陛下末だ東宮にて在ましける明治二十九年の頃、日光へ行啓の御途次

中上げんと思ひ立ち、今市より三里臣の路を徒步して日光に向ひしが、八月の炎天の下に日射病を起し、途中より引返したるまま危篤の容態となりぬ。其日、御旅館にて伺候せし佐藤御知事より、御詔の序にて此趣を申上げしに、陛下は其時恰も程近き御散歩ね

の人人恐懼し奉りて、直ちに有り給事實を取調べ、前記の次第を申上て、勢子頭某に到るまで謹慎して、^{おもむかず}待機するに、唯だ「以後慎め」と仰せられ、さうして、^{おもむかず}大の仰せありののみにて、深く寛大の仰せ給はざりしかば、皆皆重き答めさせ給ひ。

和へり。程なく供奉の人の追ひ附
さ奉りしかば、茶店の主人も少女も
始めて東宮殿下に在ますを知り奉り
勿體なさに身を戦かせつゝ、一向に
仰管嚴を示し給はざるのみか、賤の
身にまで御親しく言問はせ給ふ御温
情に只管感激し参らせしと云ふ。

故に吾々の如く海外に移住し殖民する者は、此の記念深き天長節の祝日を奉祝するに當り、皇室の彌々タクシードとして益々な難きを更に深く心に铭記し、以て大和民族發展の爲めに竭すべきである。

市今市驛へ暫く御停車あそばされしにより御旅館に歸らせ給ひし御折にて
佐藤柄木縣知事を始め重立ちたる今銀の飾りある御洋杖を御手に遊ばし
市の町民等グラットホームに整列しけるが、そは誠に不慣なり、此杖を
引けいひて御出迎へ申上げしが、陛下は其中其老人に取らせよ」と仰せられつゝ
に一人の翁の緑綾袋章を胸に帶びた御手づから知事に御洋杖を下し賜へ
るを御目に遊ばし、彼れは何者なり。知事はそを拜受して大御心の慈
やと御下問あらせられしかば、關根仁に在ますを感泣しながら、直ちに

◇ 聲明の理由 今回我が在溝洲守備軍の一部を溝洲里方面へ移動するに決したるは政府聲明書の通りに

て政府が該聲明書を發表するに至る理由は事偶々西伯利出兵問題の別途の協議に俟たざる可からず

議せられたる際にもあり且つ北溝露、支國境に近き方面への軍隊移動特に支那領土及び主權に對し秋毫に至てもあれば之が爲め内外の誤解を招かん虞がる更に支那領域内に於那國民に於ても之が爲め何等疑念を

ける事件のことへ勢ひ支那民心に挿むが如きこそなかる可く英佛等聯不妄若くは誤解を生ぜしめん恐れな合國の間に於ても今回の舉に關し既に非ざる可き以て旁豫め其のに相當の誤解を經あり因に兩國政府

趣旨の存する處を中外に聲明して叙上の如き誤解若くは不安を未然に防がんとするに就ては支那政府にても過激派軍がんざせるに至り是の茲に至るに就ては支那政府にても過激派軍の協定に基き日本は溝洲駐屯軍中より支那は北京方面より既に夫々其の

がんざせるに至るも之に即ち日支兩國も近頃著るしく世の中に出てきたの

政府間の交渉を見て相互間意なき商

量の下に事を決したものなれば兩

國何れより提議したるにも非ず要ひる

同じくせる兩國政府に於て互に意

思の結果は勢ひ裏に成立したる日支軍

の活用を意味するものとも云ふを得べし

◇ 支領の問題 即ち爰に最も注意するを要するは該問題に於て彼の所謂西伯利の問題に於ては彼の所

の問題に於ては彼の所

</

『エルバ・マテ』茶に就きて



仔馬問答

「花子さん、貴女馬つてもの知つて
仔馬問答（上） 尾崎彗山

人間と同じだなんぞ。』
『久子さん、貴方怒つたの？怒らな
くたつて良いわ、デね、花子さん、馬
の一本の指はありや何の指だか知つ
てゝ?』

墨西哥、智利、秘露、亞爾然丁、ニユーカレドニア

日本貿易株式會社
伯刺西爾支店

本店 東京市京橋區新肴町・拾番地
支店 神戸市榮町通り三ノ一八

奉祝天長節

左記之通り特約店を指定せしめ寄の諸君は同店に御注文相成たし	聖市出張所
特約店	Rua Vergueiro, 15 S. Paulo Caixa Postal, 1714
Giacomo Sfilio	Giovannetti Uchôa, L. Norte de S. Paulo
Est. Giacomo & Filhos	Est. Giacomo & Filhos
Est. Giovannetti Giacomo & Filhos	Est. Giovannetti Giacomo & Filhos
Est. Monteiro, L. Moçambique	Est. Monteiro, L. Moçambique
J. Bignardi Pedro & Cia.	J. Bignardi Pedro & Cia.
Est. Cautunduca, L. Norte de S. Paulo	Est. Cautunduca, L. Norte de S. Paulo
Anor Gareia & Cia.	Anor Gareia & Cia.
Est. Birigui, L. Nordeste	Est. Birigui, L. Nordeste
Silva, Monteiro & Cardoso	Silva, Monteiro & Cardoso
Rua S. Sebastião, 54-56 Ribeirão Preto	Rua S. Sebastião, 54-56 Ribeirão Preto
Costa & Rosillo	Costa & Rosillo
Rue Ibaté, 16 Ribeirão Preto	Rue Ibaté, 16 Ribeirão Preto

○骨抜き上等鹽たら
破格の安價にて廣く同胞諸彥に供給す
一 箱 八罐入にて一罐正味五キロ入
一キロ付聖市渡し三ミルレース也
直接御注文は一箱以上にて前金たるこご
(今春輸入せるとき一キロ八ミル五百レースに販賣せるもの
特に今般に限り一箱百二十ミルレース也)

好機逸す可からず

雜

報

◆ 堀口公使無事着任

◇夫人並に全員令嬢同伴にて

特命全權公使堀口九萬一氏は日本郵

船會社の諸岐丸にて夫人並に令嬢令

任せられたるが同船去る二十六日サ

ントスに寄港の際不取敢敬意を表す

べく公使を訪へば

▲公使は早速記者を引見し「今度

で伯國へ來るのが三回目で古い政治

家には大分知合もあるので何かと都

合が良いと思ふ、外交にせよ實業に

せよ總て知合はないと思ふにゆかぬ

ものであるが、殊に羅甸系統の人々

は表門から理窟では駄目だ、何ん

でも互ひに知合となり懇意となつて

和氣談笑の裡に仕事をするでなけれ

ば甘くゆかぬ、是は最初一寸入り苦

居るさうだからベトロボリスに一旦

ある先づ駐劄地たるリオ市に着いて

一と通り用務を済せた上のこだ、

リオは眼下流行感冒が猖獗を極めて

居るさうだからベトロボリスに一旦

落ちつい市の様を見る積りであ

るが流行感冒はケープ、タウンにも

盛んに流行して居る云ふので諸岐

丸も遂に此の地に寄港するを見合せ

た位である云々と語られ、他日再

を費し且つ税關吏の出張遅れたる爲

會を約してお別れせしが五十日と云

ふ長路の航海にも疲勞の様子なく、

公使も御家族も至つて健勝に見受け

たり

● 宮島博士安着

◇平野醫學士を助手として

北里研究所の部長として我が醫學界に於ける寄生動物研究の大業である

理學士醫學博士宮島幹之助氏は醫學

士平野憲正氏を助手として今回の諸岐丸にて無事到着せられたるが博士安着の喜びを述べた、船長は「私は

此の度の來伯は主として伯國在住同伯國の航行は今度が始めてだが幸に航

病菌をも研究して斯界の爲め貢献

一度の航海は海上は至つて無事で

病菌をも研究して斯界の爲め貢献

一度の航海は海上は至つて無事で

病菌をも研究して斯界の爲め貢献

一度の航海は海上は至つて無事で

病菌をも研究して斯界の爲め貢献

居る際なりて一同其の事情を諒

し至つて静肅に其の夜の中總て假收

容所に投宿するに至れるは收容所々

不整頓なりし爲め多少不満足の點な

きに非ざりしも流行感冒猖獗を極め

居るの際なりて同一其の事情を諒

し至つて静肅に其の夜の中總て假收

容所に投宿するに至れるは收容所々

不整頓なりし爲め多少不満足の點な

きに非ざりしも流行感冒猖獗を極め</div

条

第六席 平内松倉傳兵衛と試合の結果

御殿始め臣下の銘々に挨拶を成し、其の儘休憩所に於いて控へて居りまする。毛利の家臣も二人見分の爲め左添として乗込みました、儲て用意も程なく出来上り、御前試合と相成りまして、志村久左衛門先生の高弟始め、彼はれ二三十名ばかりも立ち合ひましたが、何れも一二合にて打ち負かされ、五六合迄持ち堪へる者は一人もございません、松倉傳兵衛嘲笑ひ「松アイヤ、最う少し手応へい」と、スコット仁王立ちに身構へたのである方はござらんか、津和野の龜井家は武を以つて聞えたるお家柄であると聞き及び、喜悅び勇んで参りしに、彼様な方々ばかりでは足りない、イサ此の上は御指南番の志村久左衛門先生とお立合ひ申さう、アお出であれ』と、他迄も大言を拂ひ傍若無人との其の振舞に、龜井能登守様始ひ満座の家臣は何れも最ぞ殘念の事に思はれ、切歎をなして居る折柄、殿様の背後に控へたる衆平内は待ち兼ねたりと云はぬばかりに、平『アイヤ志村先生のお手を煩へます』アお出であれ』と云はぬばかりに、平『アイヤ志村先生の手を見たまえ』と云ふのは、面、籠手、胴、突、此迄もなく、私お對手いたしませう』の四ヶ處のほか打つ事は出来ますまど云ふのは、面、籠手、胴、突、此處が、戦場試合で苦情が起つては困ります』松『ナシ』御前試合と戦場同様の試合とか可笑しな事を申すが、一體何うする云ふのは、面、籠手、胴、突、此處が、戦場試合で苦情が起つては困ります』松『ウヌ』云々、マア痛くない方の御前試合にいたしませうかな』と、敵手を怒らせんと、手を馬鹿にした事を吐す奴だ、サ根付大膽不敵の大言に、松倉傳兵衛に致しませう、御都合の宜しい方で打つて、打ち据ゑる事を申すので、云々、眼が眩む程怒り出し、松『ウヌ』云々、休憩室へ飛び込むや、見ると十五六貫五百目の鐵棒を輕々と提げ、再び其の處へ引き返へし、松『ア小童、當龜井家には我々如き荒小姓十人あり、其の内で第一番に立ち出でたる此の衆平内が、第一番に弱いのだ、様依つて、愚図々々云はずに立ち合ひ召され、夫れ共厭ざるなれば降参さつしやい』イヤ之れを聞いて松倉傳兵衛は怒つたの怒らんのやア、松『ウム何んと……』平『左ればでござる、若しスハ戦場の場合と相成つて、敵より一騎打の勝負を挑まれたる時に、其方は年が若い子供であるから云つて断る事は出来ませうや』敵手を選ばぬと定めてあります、松『ウム何んと……』平『左ればでござる、若しスハ戦場の場合と相成つて、敵より一騎打の勝負を挑まれたる時に、其方は年が若い子供であるから云つて断る事は出来ませうや』當龜井家には我々如き荒小姓十人あり、其の内で第一番に立ち出でたる此の衆平内が、第一番に弱いのだ、様依つて、愚図々々云はずに立ち合ひ召され、夫れ共厭ざるなれば降参さつしやい』イヤ之れを聞いて松倉傳兵衛は怒つたの怒らんのやア、松『ウム何んと……』平『左ればでござる、若しスハ戦場の場合と相成つて、敵より一騎打の勝負を挑まれたる時に、其方は年が若い子供であるから云つて断る事は出来ませうや』當龜井家には我々如き荒小姓十人あり、其の内で第一番に立ち出でたる此の衆平内が、第一番に弱いのだ、様依つて、愚図々々云はずに立ち合ひ召され、夫れ共厭ざるなれば降参さつしやい』イヤ之れを聞いて松倉傳兵衛は怒つたの怒らんのやア、松『ウム何んと……』平『左ればでござる、若しスハ戦場の場合と相成つて、敵より一騎打の勝負を挑まれたる時に、其方は年が若い子供であるから云つて断る事は出来ませうや』

婦人

奉祝天長節

伯刺西爾移民
合組**伯國支那**

同リベロン、ブレト出張所

奉祝天長節

伯刺西爾支店